

悩みや葛藤の中でも

「今できること」「これからできること」を

都島区 再会の喜びを静かな笑顔で、食事サービス再開へ

東成区 「活動再開」と「在宅生活」の両面を応援

港区 おやじパワーで居場所づくり「こっせい親子食堂」

コロナの中でもつながる方法

〈特集〉こころの叫びをうけとめて

自殺予防週間(9月10日～16日)

シカゴの社会福祉 視察研修参加者レポート⑧

こんなことやっています！私たちの施設から

社会福祉法人 愛徳福祉会 大阪発達総合療育センター

みんなの笑顔が集まる場所を福祉と医療で支えます

12

11

7

6

5

4

4

3

2

2

大阪の 社会福祉

2020.8

783

The social welfare
in OSAKA



社会福祉

大阪市社会福祉協議会

<http://www.osaka-sishakyo.jp>

令和2年7月28日

コロナの中でも つながる方法

電話 手紙・届けもの オンライン
うちでできること 訪問 気をつけて集まる

社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会

- 新型コロナウイルス感染症の動向を踏まえて、4月30日に作成した「集まれなくてもつながる方法」をバージョンアップしました。
- 新たに「気をつけながら集まる方法」の部分を追加収録。活動再開を考える際の参考資料として活用してください。

市社協HPからダウンロードできます
(4面に関連記事)



入口で検温と消毒(港区・港晴地域、4面に関連記事)

市民生活のあり方、人と人とのコミュニケーションについて、かつてない変化がもたらされている。そのような中、地域でのつながりがづくりについて、困難やもどかしさに直面しながらも、何ができるのか。今号も引き続き、各区・地域の取り組みを紹介する。

新型コロナウイルス感染症は、感染者数の減少傾向が続いていた時期もあったが、7月下旬時点で再び増加傾向にあり、予断を許さない状況となっている。

協社
市社

コロナの中でも、
つながることを
あきらめない

HB

コロナが高齢者に大きな影響を与えているが、電話による特殊詐欺も高齢者を狙い撃ちしている▼先日、

カードで買い物をした会社から、一部返金したいので、カード番号を教えてくださいという電話がかかってきた。不審に思っただけでみると、電話でもほとんどの人がクレジットカード番号を教えるのだという▼私が慎重すぎるのかもしれないが、相手が大企業を名乗り、確かに数日前にカードで買い物をして、少額でも返金してくれると言え、番号を教えてしまいたいという▼以前、海外で買い物をしたことになっていて驚いたことがある。パスポートの出入国の日付をコピーして、請求の日には日本に居たことをカード会社に理解してもらったが、詐欺グループは番号を知る方法をよく知っているのである▼コロナの時代に現金より安全であるなど、カードの便利さを否定するものではないが、カードには私たちの知らない落とし穴があり、私たちには想像もできないような悪知恵を働かせるやからもあるのが現実である▼それにしても、高齢者に電話でクレジットカード番号を言わせることを、当たり前だと思っていることが怖い。(石)

悩みや葛藤の中でも 「今できること」「これからできること」を

前月号でも紹介したとおり、大阪市は「地域活動の再開検討ガイドライン」を6月に発出し、それに基づき区独自のガイドラインが作成されているところもある。このような中、感染対策を講じて、地域会館での体操教室や、ふれあい喫茶活動などを徐々に再開する動きが出てきている。

とは言え、地域からの声として「リスクはゼロにならない中で、実際のところ判断に迷う」「ガイドラインがあるとは言え、具体的にどこまで対策をすればいいのか」「再開するにしても、ふれあいを一部制限した方法を取らざるを得ない中で、形だけの再開にならないようにしたい」など、悩みや葛藤は尽きない。

感染対策や再開への考え方は多様であり、「こうすればすべてうまくいく」という唯一の正解はない。引き続き、感染症の動向に留意しながら慎重な判断が求められるが、各区・地域で「今できること」「これからできること」を話し合い、選び取っていくためのヒントとなるよう、つながりづくりの実践例を紹介する。



感染防止に十分に配慮し会食会を再開した都島区桜宮地域

桜宮地域社会福祉協議会の玉川允敏会長からは「皆さんとこうして再会できて本当に嬉しい、これから少しずつ工夫しながら色んな

会話は控えめではあったが、「久しぶり〜」「元気がった？」その笑顔の中には、静かな喜びがあふれていた。

コロナ禍ゆえに、参加者同士の

食事は、休中止中に施設入所した方もおられる。閉じこもりがちになることを心配しているご家族の声もよく聞く。それは地域の課題としてとらえている。近所み

私さ今日の日が待ち遠しかったで

ら始まった。

食事は、休中止中に施設入所した方もおられる。閉じこもりがちになることを心配しているご家族の声もよく聞く。それは地域の課題としてとらえている。近所み

なった。

都島区 再会の喜びを静かな笑顔で、 食事サービス再開へ

都島区桜宮地域食事サービス委員会では、普段から地元の給食業者を利用して、月2回会食型の食事サービスを実施している。

7月8日は、連日の雨にもかかわらず晴天に恵まれ、4カ月ぶりの食事サービスの再開にふさわしい一日と

ボランティア・利用者ともに手指の消毒、会食開始までマスクの着用、飛沫防止には、お互いの顔が見えやすいように、アクリル板より透明度の高いタキロン板を用意し、座席も離れて配置。お茶は各人にペットボトルから紙コップで配付、これまで手作りにしていたお汁物はやめて、カットフルーツを業者に依頼するなど、コロナ感染防止に十分に配慮しながら始まった。



啓発チラシとお弁当

ものを皆さんと相談しながら再開していきたい」と話す。

都島区社協・地域支援担当の紙屋なつみさんは、「利用される方々の今日会えた喜びに溢れた笑顔やボランティアの方々への感謝の声、その声に応えるボランティアの方の真摯な姿勢と迎え入れる優しい仕草に、いつも以上に心を動かされました。新しい生活様式の実践の中、地域の活動の再開は、さまざまな困難が生じていますが、物理的な距離は必要となりましたが、心の距離はより近くなる、そんな桜宮地域の再開の姿がそこに確かにありました」と語る。

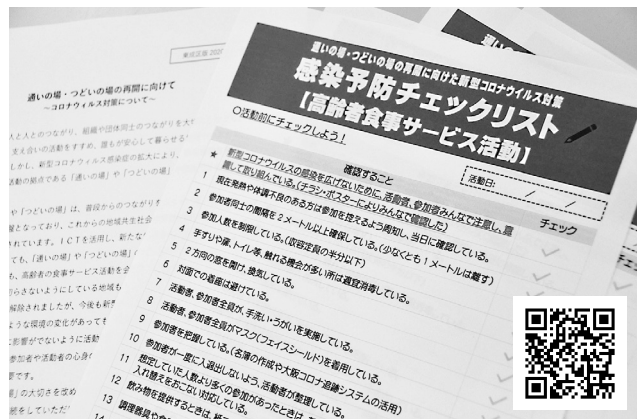
東成区

「活動再開」と「在宅生活」の両面を応援

東成区社協では、地域福祉活動の再開に向けた取組みと、在宅生活を応援する取組みを推進している。

安心して活動再開できるように

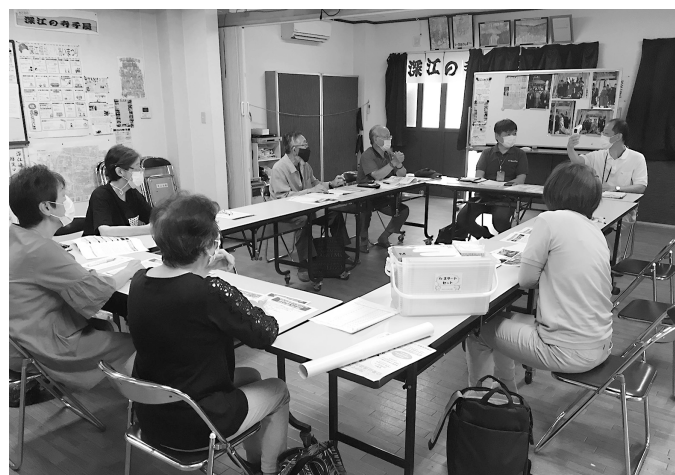
東成区では5月末、各地域の代表者が集まる会議で、地域福祉活動の再開に向けて、一定の整理を望む意見が話し合われた。そこで区役所・区社協で検討の場を設け、区社協として「通いの場・つどいの場の再開に向けて」コロナウイルス対策



通いの場・つどいの場の再開に向けたチェックリスト

本文では、ICTを活用し、新たな生活様式に対応した開催が進められる中であっても、「通いの場」や「つどいの場」の代わりにはなりません。この自粛期間であっても、高齢者の食事サービス活動を会食から配食による活動に変更して、つながりを切らさないようにしている地域もあります。地域活動の意義を再確認。数か月間の自粛期間を経て、今あらためてそれぞれの活動の目的を確認して開催方法を考えていくこと、活動者同

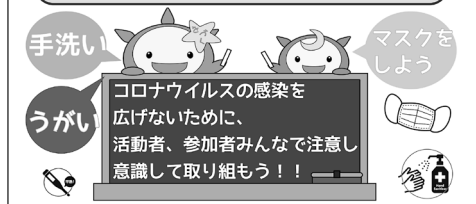
士の話し合いを大切にすること、具体的な感染対策として気をつけるポイントや活動ごとのチェックリストなども示している。また、活動再開に向けて必要な消毒液などを詰め合わせて、地域に配付する「地域福祉活動Re...スタートセット」を用意。感染を広げないためには、活動者・参加者みんなで注意し、意識して取り組むことが大切であることから、新型コロナウイルス感染症対策を説明する提示物も作成した。



地域ケアネットワーク連絡会で活動再開に向けて話し合い（深江地域）

区内外各地域の地域福祉活動サポーターが集まる連絡会や、地域ごとに開催される「地域ケアネットワーク連絡会」で順次説明・配付し、活動の再開をともに考える流れをつくっている。

みんなで取り組もうとても大切なこと



会場内に掲示するポスター

在宅生活の知恵と工夫をSHARE

活動の再開に向けた動きと並行して、東成区社協では、東成区リハビリテーション連絡会、入浴サービス株式会社と協働して、「在宅生活応援！新しい生活様式 知恵と工夫のSHAREプロジェクト」を開始した。

在宅生活応援！新しい生活様式 知恵と工夫のSHAREプロジェクト



さまざまな知恵と工夫を募集中。全社協「未来の豊かな「つながり」のための全国アクション」にも事例掲載されている

おやじパワーで居場所づくり！

「こうせい親子（おやじ）食堂」

7月11日、港晴会館 老人憩いの家で、こうせい親子（おやじ）食堂が開催された。親子をはじめとした全世代に来てもらいたいという願望と、運営のすべてをおやじたちが担うという希望を込め、子に濁点をつけ、男性中心のコミュニティ食堂であることをユニークに表現した。

「衛生管理をみんなで徹底しよう」をスローガンに、入口で検温とアルコール消毒を実施。客席の間や受付には、飛沫感染防止用のシールドを手作りで設置するなど、感染症対策に力を注いだ。

また、小学校との協議を重ね、こどもでも安心して来られる場所をめざした。結果、来場者ですぐにテーブルは埋まり、100食用意したこだわりぬい

たカレーライスは完売。賑やかな空間になった。

代表の黒川寿清さんは「スタッフたちは、やるなら楽しくをモットーに、年齢に関係なく、和気あいあいと取り組んでいます。こどもたちの居場所、地域みんなが集まれる場所ができればとの思いで、3月ごろから準備を進めてきました。このような状況の中でも地域のつながりを大切にしていきたいです」と思いを語る。



チームワーク抜群のスタッフ



具たくさんのカレーは大好評

新型コロナウイルスの影響で学校が休校になったことは、親が働いているあいだ一人で家にいることがあるかもしれない。そう考えたとき、今だからこそ地域として何かでき

るのではという問いが生まれた。何度も話し合いを重ねた結果、「地域の人々に寄り添う」気持ちで芽生え、その答えの一つが「食を共にすること」だった。その気持ちは、地域見守りコーディネーターや民生委員に伝わり、来る人がいつでも相談ができるようにと、関わりを続けてくれることになった。

あるスタッフは「黒川さんには幼いころからお世話になっていたので、地域へ恩返しをしたい思いもあり、配膳や食べられた後のテーブルや椅子を丁寧に消毒するなど、自分にできることをやっています」と話し、あたたかな雰囲気を感じられた。港区社協・生活支援コーディネーターの久保祐一郎さんは「定期的に運営の苦労や大変さがあると思いますが、楽しくやるといふ代表の言葉でみなさんが救われています」と語った。

改訂版の「つながる方法」HPで公開中



市社協では、4月30日に「集まれなくてもつながる方法」を作成しましたが、活動再開に向けたポイントや参考資料を追加収録して、「コロナの中でもつながる方法」（全34ページ）としてバージョンアップしました。

地域でのさまざまな活動に取り組む方や社協職員を読み手としています。地域での検討の際の参考にしていただき、状況に応じて「集まれなくてもつながる」「気をつけながら集まる」を組み合わせて実践していただければ幸いです。詳細は市社協HP参照。問合せは地域福祉課（06-67556-5606）まで。

特集

こころの叫びをうけとめて

自殺予防週間（9月10日～16日）

毎年、9月10日～16日は「自殺予防週間」です。自殺はなぜ起きてしまうのか。尊い命を自ら断つ自殺という行為は、悲しく、残念で、できるならば避けたいことです。自殺は、さまざまな要因が複雑に関係し、心理的に追い込まれた末に至る死であるものの、個人の問題として捉えるだけでなく、時代の情勢や周りの環境の変化によって起こってくる社会的な問題でもあります。

今回は「死にたい」人の心の叫びをうけとめる電話相談事業をおこなう団体に、相談電話の現状や、「死にたい」という人との向き合い方についてお話をうかがいました。

自殺の現状と背景

年間2万人が自ら命を絶つ
日本の自殺者は1998年から2011年までは年間3万人

を超えていましたが、近年は減少傾向で、令和元年の自殺者数は20,169人まで減り、10年連続で過去最少を更新しました。自殺者数を男女別にみると、男性は10年連続減少しています。男性の自殺者数は、女性の約2・3倍となっています。

若年層の自殺は深刻な課題
一方、自殺者数を年齢階級別でみると、30歳代は11年連続、40歳代、50歳代、60歳代は10年連続で減少しているのに対し、唯一19歳以下の自殺者が増加しており、改めて若年者の自殺増加が懸念されます。

大阪市こころの健康センターの取組み

社会が多様化する中で、地域生活で起きる問題が複雑化・複合化し、さまざまな要因が重なり、自殺につながる可能性があります。

大阪市こころの健康センター

では、こころの悩み電話相談のほか、ひきこもりに関することやアルコール依存症等の相談、精神に障がいがある方への社会参加の促進などに取り組んでいます。また、学生等を対象にゲートキーパー（命の門番）養成研修等も実施しています。

ゲートキーパーとは、自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応をおこなう（具体的には、悩んでいる人に気づき、声をかけ、傾聴して、必要な支援につなげ、見守る）人のことをいいます。精神保健福祉相談員、保健師、生活保護ケースワーカー、地域包括支援センター職員等を対象に、危機介入の研修も実施しています。このほか、自殺のハイリスクをかかえる自殺未遂者が再び自殺を図らないように、警察や医療機関、消防、保健福祉センター等が連携し、包括的な支援を進めています。

当センター・保健主幹の金森かずみさんは「自殺を考える人は、死にたいと生きたいが同時にあり、どうしたらいいかわからなくなってしまう。そんな状況にある人の気持ちを紐解き、生きることにつなげるには、保健師をはじめ担当者それぞれがスキルアップしてチームで支援していきたいと考えています」と話します。

年間の自殺者数が減ってきていますが、「助けて」と安心して言える社会をつくっていくために、行政、NPO等の団体、市民問わず、自殺を私たち一人ひとりの問題として考えていきたいものです。

（6・7面に続く）



大阪市こころの健康センター
左から、甲藤さん、金森さん、鈎さん

■大阪市こころの悩み電話相談

06-6923-0936（平日9時30分～17時）

■こころの健康相談統一ダイヤル

0570-064-556（平日10時～12時、13時～17時）



■新型コロナウイルス感染症に関するこころの悩み電話相談

06-6922-3474（平日9時30分～12時、13時～17時）

自殺者数減少の背景には、国が2006年に自殺防止と自殺未遂者や自殺者の遺族への支援を、国や自治体の責務と

感の持てない家庭環境や虐待、そして不登校やいじめの問題といった要因に加え、ネットやスマホが普及した環境の中で、日常生活が不安定となっていることも影響しているのではないかと考えられます。

どの世代においても、自殺の危険因子となるのが、精神疾患

励ます言葉より、 「絶望感」に耳を傾けて

認定NPO法人 国際ビフレンダーズ
大阪自殺防止センター

☎06-6260-4343(金曜13時～日曜22時)

「友達になる (be friend)」＝「寄り添い・支える存在になる」が基本姿勢。

電話相談は月に約400件。月2回「自死遺族のつどい」を開催。



理事長 北條 達人さん

1970年代初頭のほぼ同時期に設立され、以来、半世紀にわたり、ボランティアによる電話相談を実施している2団体の取組を紹介します。

コロナ禍初期の 一体感は幻想?!

新型コロナウイルスの感染に対する相談が増えています。今年、自殺者数は、例年よりも減少しています。理由のひとつとして考えられるのは、災害などで社会全体が落ち込んだときに生まれるある種の一体感かもしれない。心理学用語で「ハネムーン期」といいます。東日本大震災でも、起きた直後は自殺者数が減ったものの、立ち直るスピードに格差が生じ、一体感だと思っていた社会がそうでなかった。

いま、死のうとして 人にできること

たことに気づく「幻滅期」に突入します。こうなると、自殺者の数が一気にあがっています。コロナ問題もこの先、幻滅期を迎え、自殺者数が増えるかもしれないので、しっかりと見守っていかねばなりません。

相談のうち、自殺意志のある人は約7割、このうち約1割が自殺の計画を考えてしまっています。自殺を考えてしまう人であっても、自分の行為を客観的にみてほしい思いで「なぜ、電話されたんですか？あなたは今、死にたいと考えておられるのですか」と必ず尋ねるようにしています。すると、しばらく沈黙したあとにポツリポツリと「なぜ、ここまで苦しんでいるのか」について1時間ぐらい話をしてくれました。「次の電車がきたら飛び込むつもりです」と駅から遺書代わりに電話する人もいました。

ある相談員は、腹をくくって「あなたと話した最後の人間になってもかまわないから、話を聴かせてほしい」と伝えました。すると「そんな反応が返ってくるとは…魂が救われた気がした」といって電話をおかれたそうです。ここにかけってくる人

は、他にも相談していて気持ちのわかってもらえなかった人が多いようです。具体的な支援より、根源的な心のつながりを求められていると感じます。

人生物語の喪失に 耳をかたむける

多くの悩みの根底には、その人が描いていた「人生物語」の喪失があると考えています。子どもの頃、学生時代、就職や結婚…幸せなはずの人生物語が崩れてから、何もかもうまくいかなくなった。本人も周りもそのことに気づかず、崩れた人生物語がそのまま放置され「なぜ苦しいかわからない」けれど絶望している状態がずっと続いているのです。人生物語の立て直しをするには、安易な励ましではなく、「絶望感」にしっかりと寄り添い耳を傾け、絶望的な状態を「それでも生きていいんだ」と思えるように肯定することです。

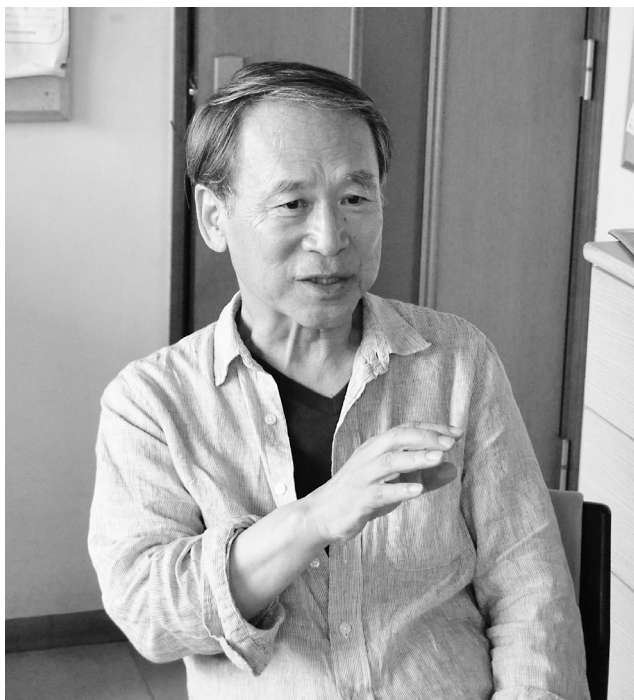
自殺を回避するには 何が必要？

とです。

人生物語が喪失し「死にたい」と思った人が、自分の人生物語を作り直すには何が必要でしょうか。その人の気持ちを受け止め、その人が「もう少し生きてみよう」と思える気持ちの転換点まで並走してくれる人です。それは、身近な人でも、顔は見えないけれど接点をもった人でもかまいません。自殺を考えている人は、自暴自棄で無感動、心が動かなくなっています。そんな状態でも、1日1日をなんとかつないで、1カ月先、半年先には、無感動と思っていた社会のなかに自分の心とつながる接点が生まれたら、命を絶たずにすむかもしれないのです。私たちは、相談者の「生きてみよう」を信じて、これからも関わり続けていきます。



「心に傘を」という言葉を胸に、友となり、苦しむ人のそばにいたいと思う方々の心に寄り添いたいとの思いで活動していることを知っていただくために駅構内等でポスターを掲示するなどのプロジェクトを展開しています



常務理事 八尾 和彦さん

ありのままに、その人を まるごと受け容れる

社会福祉法人 関西いのちの電話

☎06-6309-1121

自殺予防をはじめとして、さまざまな心の悩みに向き合い、24時間、年中無休、相談員が交代で電話相談に対応している。

相談員数は、現在320人。

変化していく コロナ禍の悩み

今年、新型コロナウイルス関連の悩み相談は、3月から5月の2ヵ月間で10倍に増えました。最初は、死と隣り合わせであることの恐怖感や精神疾患の悪化の訴えが大半でしたが、時が経つにつれ、生活の不安、経済的な問題、家族内の問題など、その人が長年抱えている課題が表面化してきたように思われます。私も相談員も、コロナ感染に不安、恐怖を覚え、活動を続けるべきか中断すべきか、絶えず葛藤を覚えながら活動を続けてきました。4月は実働の延べ

相談員数が前月の6割に落ち込みましたが、ボランティア相談員の意思によって、24時間体制を何とか維持することができたと思っています。6月に入ってからほぼ平常に戻ってきたようですが、コロナを巡ってこれからも緊張は続きます。

「生きたい」から「こそ訴える」

総受信件数の内、「自殺」を訴えてくる件数は約15%。電話口で「死にたい」と言われたら「ご家族が悲しみますよ」などと思ってしまうのではなく、自分の基準や価値観は横において、「死にたいと思うほど、辛い思いをしていらつしやるんですね」とその人の気持ちに寄り添います。「生きたい」という気持ちがあるからこそ悩み、電話をしてこられます。「死にたい」けれど実は「生きたい」という思いの中にある人をそのままに受け容れるように努めています。

より良い聴き手になるため、毎月、グループ研修を実施しています。相談員にとっては、相談活動と研修は車の両輪のようなもの。そして、この二つのことをとおして、何歳になっても絶えず「心の成長」があり、普段の生活の中でも、傾聴・受容のできる人になることをめざしています。

悩みが塊になって うつを引き起こす

自殺は、孤独、喪失、絶望、その3つが重なると起きると言われています。私たちにできることは、その人が孤独に陥らないよう、いつでもどこからでも匿名で相談できるチャネルがたくさんあることを知らせることです。話すことで気持ちが少しは整理されたり、落ち着きを取り戻すことは確かにあります。しっかりと受けとめることで、心の重荷がとれて、明日に向かって少しでも生きる力が回復されるように支えていくことが私たちの役割です。

自殺に至る原因は、単純ではありません。いろんな悩みが重なって大きな塊になってくることでうつ状態が生じ、しだいに視野が狭くなり、自殺しか見えなくなってしまうケースがあります。何か思い悩んだり、壁にぶつかったり、苦しい思いをしたりしたら、悩みが塊になる前にとにかく電話をしてほ

しいと願っています。

取材をとおして

ありのままに 生きられる地域に

取材をとおして、自殺の要因のひとつである孤立を防ぐために「人とのつながり」がいかに重要であるかを改めて感じました。同時に「死にたいほどつらい」と安心して言えるには、相談ボランティアがそうであるように、私たちも、ひとりの人間を理解するための深い共感力を養わなければならないと感じました。誰もがありのままの自分に納得しながら生きられる人生を地域の中でどう作っていくか、一人ひとりが考えていくことが大切だと思います。

■相談ボランティア養成講座 (大阪自殺防止センター)

適性テストを受け、養成講座及び電話実習の後、ボランティアとして認定。講座は年2回実施。活動内容等、詳しくはHP参照。
お問合せ：06-6260-2155



■相談ボランティア養成講座 (関西いのちの電話)

1年目は一泊研修・一日研修・週1回の講義や実習、2年目はインターンとしての実習、各種研修を受ける。詳しくはHP参照。
お問合せ：関西いのちの電話事務局
06-6308-6868



両団体とも事業を続けていくうえで、人材不足の状況で、毎年、以上のとおり、養成講座を実施しています。

暑中お見舞い申し上げます



社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会

会 長 宮川 晴美
副会長 清水 弘 永岡 正己
吉川 郁夫 倉光 愼二

社会福祉法人
大阪市北区社会福祉協議会 会長 小玉 始

社会福祉法人
大阪市福島区社会福祉協議会 会長 矢山 英夫

社会福祉法人
大阪市中央区社会福祉協議会 会長 浦野 皖次

社会福祉法人
大阪市港区社会福祉協議会 会長 武智 虎義

社会福祉法人
大阪市天王寺区社会福祉協議会 会長 中野 明男

社会福祉法人
大阪市西淀川区社会福祉協議会 会長 大垣 純一

社会福祉法人
大阪市東淀川区社会福祉協議会 会長 吉田 正則

社会福祉法人
大阪市生野区社会福祉協議会 会長 多田 龍弘

社会福祉法人
大阪市城東区社会福祉協議会 会長 伊東 允二

社会福祉法人
大阪市阿倍野区社会福祉協議会 会長 永岡 正己

社会福祉法人
大阪市住吉区社会福祉協議会 会長 山下 保一

社会福祉法人
大阪市平野区社会福祉協議会 会長 田中智偉子

社会福祉法人
大阪市都島区社会福祉協議会 会長 前田 起平

社会福祉法人
大阪市此花区社会福祉協議会 会長 宮川 晴美

社会福祉法人
大阪市西区社会福祉協議会 会長 笹野井庸夫

社会福祉法人
大阪市大正区社会福祉協議会 会長 川上 満

社会福祉法人
大阪市浪速区社会福祉協議会 会長 北口 武司

社会福祉法人
大阪市淀川区社会福祉協議会 会長 三田 和夫

社会福祉法人
大阪市東成区社会福祉協議会 会長 清水 弘

社会福祉法人
大阪市旭区社会福祉協議会 会長 宮本 正路

社会福祉法人
大阪市鶴見区社会福祉協議会 会長 中田 俊二

社会福祉法人
大阪市住之江区社会福祉協議会 会長 中野紀久雄

社会福祉法人
大阪市東住吉区社会福祉協議会 会長 川本 公夫

社会福祉法人
大阪市西成区社会福祉協議会 会長 住谷 誠次

支えあう 住みよい社会 地域から 大阪市民生委員児童委員協議会 会 長 吉 川 郁 夫 副会長 四 宮 政 利 副会長 一本松 三 雪 副会長 山 本 眞 路 〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町12-10 大阪市立社会福祉センター内 電 話 6 7 6 5 - 5 6 0 9 F A X 6 7 6 5 - 5 6 0 3		一般財団法人 大阪市身体障害者団体協議会 会 長 手 嶋 勇 一 野 村 和 子 廣 田 しづえ 〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町12-10 大阪市立社会福祉センター内 電 話 6 7 6 5 - 5 6 3 6 F A X 6 7 6 5 - 7 4 0 7	
大阪市社会事業施設協議会 会 長 倉 光 慎 二 (大阪市地域福祉施設協議会) 副会長 中 西 裕 (大阪市児童福祉施設連盟) 副会長 近 藤 適 (大阪市保育連合会) 副会長 後 藤 静 男 (大阪市老人福祉施設連盟) 副会長 川 端 均 (大阪市生活保護施設連盟) 副会長 山 内 泰 典 (大阪市障害児・者施設連絡協議会) 【事務局】 〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町12-10 大阪市立社会福祉センター内 電 話 6 7 6 5 - 5 6 0 6 F A X 6 7 6 5 - 5 6 0 7		公益社団法人 大阪市ひとり親家庭福祉連合会 会 長 北 玲 子 〒531-0071 大阪市北区中津1-4-10 大阪市立愛光会館内 電 話 6 3 7 1 - 7 1 4 6 F A X 6 3 7 1 - 6 7 2 2 http://www.hitoren-osaka.org/	
一般社団法人 大阪市児童福祉施設連盟 会 長 中 西 裕 児童養護施設 母子生活支援施設 児童自立支援施設 乳児院 児童心理治療施設 福祉型障害児入所施設 児童発達支援センター 事務局 社会福祉法人 大念仏寺社会事業団 〒547-0045 平野区平野上町1-7-3 電話 6791-5410 FAX 6791-7774	一般社団法人 大阪市私立保育連盟 会 長 近 藤 適 会員一同 〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町12-10 大阪市立社会福祉センター内 電 話 6 7 6 1 - 1 1 7 1 http://o-shihoren.or.jp/	大阪市生活保護施設連盟 会 長 川 端 均 会員一同 事務局 救護施設 平和寮 内 〒545-0011 大阪市阿倍野区昭和町3-4-27 電 話 6 6 2 8 - 6 1 5 1 F A X 6 6 2 8 - 0 4 4 1	
大阪市障害児・者施設連絡協議会 会 長 山 内 泰 典 事務局 此花区障がい者基幹相談支援センター 風の輪 内 〒554-0021 大阪市此花区春日出北1-1-4-101 電 話 6 4 6 1 - 5 0 5 5 F A X 6 4 6 1 - 5 0 5 6		社会福祉法人 愛徳福祉会 大阪発達総合療育センター 理事長 鈴木 恒 彦 南大阪小児リハビリテーション病院(保険医療機関) わかば(医療型障害児入所施設・短期入所事業) ふたば(児童発達支援センター・保育所等訪問支援事業) いぶき(特定相談支援事業・障害児相談支援事業) フェニックス(医療型障害児入所施設・療養介護事業・短期入所事業) なでしこ(生活介護事業・児童発達支援事業) 〒546-0035 大阪市東住吉区山坂5-11-21 電 話 6 6 9 9 - 8 7 3 1 F A X 6 6 9 9 - 8 1 3 4 訪問看護ステーション めぐみ(指定訪問看護事業) 電 話 6 6 9 9 - 8 8 5 5 F A X 6 6 9 9 - 8 8 5 6 ヘルパーステーション めぐみ(指定訪問介護事業) 電 話 7 5 0 6 - 9 2 2 3 F A X 6 6 9 9 - 8 8 5 6 〒546-0035 東住吉区山坂5-9-16 大阪発達総合療育センター あさしお診療所(保険医療機関) あさしお園(児童発達支援センター・保育所等訪問支援事業) ゆうなぎ園(児童発達支援センター・保育所等訪問支援事業) 〒552-0004 大阪市港区夕風2-5-3 電 話 6 5 7 4 - 2 5 2 1 F A X 6 5 7 4 - 2 5 2 4	
のばそう!健康寿命、担おう!地域づくりを 一般社団法人 大阪市老人クラブ連合会 理事長 野 口 一 郎 〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町12-10 大阪市立社会福祉センター3階 電 話 4 3 0 4 - 8 5 5 5 F A X 4 3 0 4 - 8 5 5 7		障がいのある人が安心して心豊かにすごせるように 社会福祉法人 大阪市手をつなぐ育成会 理事長 小 泉 いと子 役員・会員一同 〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町12-10 大阪市立社会福祉センター内 電 話 6 7 6 5 - 5 6 2 1 F A X 6 7 6 5 - 5 6 2 3	社会福祉法人 今 川 学 園 理事長 魚 住 誠 一 〒546-0003 大阪市東住吉区今川3-5-8 電 話 6 7 1 3 - 6 1 0 6 保育所・隣保館・子どもの家・ キンダーハイム・大和川園・今林の里・ ふれあいホーム・ハーモニー・ ワークセンターいまがわ
社会福祉法人 大阪自彊館 理事長 川 端 均 〒557-0014 大阪市西成区天下茶屋1-3-17 電 話 6 6 5 9 - 8 1 8 1 F A X 6 6 5 2 - 2 2 1 8 http://www.ojk.or.jp		社会福祉法人 大阪市障害者福祉・スポーツ協会 理事長 石 田 易 司 〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町12番10号 電話 06-6767-9981 ◇運営事業所一覧◇ 大阪市長居障がい者スポーツセンター 大阪市舞洲障がい者スポーツセンター 大阪市更生療育センター ワークセンター中津 ワークセンター中授 ワークセンター千里 大阪市立此花作業指導所 ワークセンター粉浜 中津サテライトオフィス 大阪市立早川福祉会館 サテライト・オフィス平野 大阪市障がい者相談支援研修センター 大阪市職業指導センター 大阪市職業リハビリテーションセンター 大阪市障がい者就業・生活支援センター 大阪市発達障がい者支援センター [エルムおおさか] 大阪市立舞洲就労支援所	

社会福祉法人 大阪重症心身障害児者を支える会 理事長 寺岡 富子 〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町2-23-11 電話 6622-3759 FAX 6622-3769 E-mail center@sasaeru.or.jp	社会福祉法人 大阪福祉事業財団 理事長 茨木 範宏 常務理事 山本 政幸 常務理事 勝原 祐子 事務局長 桑原 一章 〒536-0001 大阪市城東区古市1-7-8 tel 06-6931-0098 fax 06-6933-1699 mail: zaidan-1@occn.zaq.ne.jp H P: http://www.zaidanosaka.or.jp/	社会福祉法人 柿の木福祉の園 理事長 宮川 ヒサ 長居保育園 長居保育園乳児センター 長居子どもの家 長居西地域在宅サービスステーション ながいの里 居宅介護支援事業所 ながいの里 〒558-0004 大阪市住吉区长居東4-11-16 電話 6691-3669 FAX 6691-8292 http://www.kakinoki.or.jp
社会福祉法人 久栄会 理事長 岩崎 久直 〒544-0013 大阪市生野区巽中3-14-3 電話 6756-5200 FAX 6756-6688 http://www.minori-en.com/	社会福祉法人 四恩学園 理事長 中西 裕 〒558-0011 大阪市住吉区菊田4-3-9 電話 6607-2220 FAX 6696-5347 ●乳児院・児童養護施設 ●幼児・乳児・保育園 ●子どもの家(学童)・子育て支援センター ●地域密着型特別養護老人ホーム デイサービス・認知症デイサービス・ホームヘルプセンター 住吉区東地域包括支援センター・居宅介護支援事業所・ 在宅介護支援センター http://shiongakuen.or.jp	社会福祉法人 四天王寺福祉事業団 理事長 瀧 藤 尊 淳 常務理事 塚 原 昭 人 常務理事 坂 本 峰 徳 〒543-0051 大阪市天王寺区四天王寺1-11-18 電話 6771-7971 FAX 6771-8961
社会福祉法人 治栄会 理事長 大森 秀之 〒534-0027 大阪市都島区中野町5-10-70 電話 4253-8055 FAX 4253-8066 http://www.jieikai.or.jp/	社会福祉法人 晋栄福祉会 理事長 濱田 和則 〈鶴見区〉茨田大宮ちどり 施設長 近藤 光 〈都島区〉東野田ちどり保育園 園長 江川永里子 〈城東区〉城東ちどり保育園 園長 浅野 敦子 〈東成区〉大阪市立東中本保育所 所長 高田 幸代 〈大正区〉大阪市立北恩加島保育所 所長 西森 保子 〈北区〉中之島ちどり保育園 園長 小林 操 〈中央区〉御堂筋本町ちどり保育園 園長 増田 小織 〈福島区〉新福島ちどり保育園 園長 藤本麻里子	社会福祉法人 水仙福祉会 理事長 松村 寛 〒533-0004 大阪市東淀川区小松1-13-21 電話 6328-3786 FAX 6328-3788 E-mail honbu@suisen.or.jp http://www.suisen.or.jp/
社会福祉法人 聖家族の家 理事長 上利 久芳 〒546-0033 東住吉区南田辺4-5-2 電話 6699-7221 FAX 6699-7243 児童養護施設 聖家族の家 乳児院 聖母託児園 児童心理治療施設 児童院 E-mail holyfamily@luck.ocn.ne.jp	社会福祉法人 なみはや福祉会 理事長 竹本 榮 〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町12-10 大阪市立社会福祉センター内 電話 6761-3010 http://www.namihaya.or.jp	社会福祉法人 日本ライトハウス 理事長 橋本 照夫 〒538-0042 大阪市鶴見区今津中2-4-37 電話 6961-5521 FAX 6968-2059 http://www.lighthouse.or.jp/
 社会福祉法人 みおつくし福祉会 理事長 久保 直也 〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町12-10 大阪市立社会福祉センター内 電話 6765-5611 FAX 6765-5614 http://www.mioticsukushi.or.jp/	 社会福祉法人 みなと寮 理事長 大西 豊美 〒586-0052 河内長野市河合寺423番1 電話 0721-62-3700 FAX 0721-62-3711 http://www.minatoryo.or.jp/	社会福祉法人 都島友の会 理事長 渡久地 歌子 〒534-0021 大阪市都島区都島本通3-4-3 電話 6921-0321 FAX 6924-2055 http://www.miyakojima.or.jp
 あふれる笑顔 社会福祉法人 優心会 理事長 垣谷 隆太 ・介護老人福祉施設 ・通所介護 ・短期入所生活介護 ・居宅介護支援事業 〒547-0014 大阪市平野区長吉川辺3丁目2番3号 TEL:06-6700-8000 FAX:06-6700-8400 http://yuushinkai.or.jp	学校法人 田島学園(奈良東病院グループ) 近畿社会福祉専門学校 厚生労働大臣指定(介護福祉士養成校) 理事長 鉄村 俊夫 学校長 榊 豪司 〒534-0025 大阪市都島区片町1-5-13 大手前センチュリービル3階 電話 6136-1117 FAX 6136-1115 http://www.kinki-swc.ac.jp	印刷 × Web + α TOTAL COMMUNICATION 関西共同 株式会社 関西共同印刷所 http://www.kansai-kyodo.jp 大阪本社 〒531-0076 大阪市北区大淀中3丁目15-6 TEL 06-6453-2564(代) FAX 06-6452-4980 E-mail eigyo1@kansai-kyodo.co.jp

シカゴの 社会福祉

視察研修参加者レポート⑧

マリラック聖ビンセントを 視察して

社会福祉法人 大阪自彊館 障害者支援施設いみみや 村田 雅邦 さん



米国では、障がい者がナッシングホームに入所すると政府から補助金が施設に入る仕組みで、本人が望まなくても入所を余儀なくされることもあり、終の棲家として施設で一生を終える方が、今現在でも多くおられます。マリラック聖ビンセントでは、ナッシングホームに本人が入所を望まないで入所していれば、本人の希望に応じて単身在宅生活や介護付きアパートに移行できる相談支援もおこなっています。ナッシングホームで生活するメディケイド（低所得者、補足的所得保障の受給者である障がい者や

マリラック聖ビンセントは、乳児から高齢者までを対象とした事業を幅広く展開しています。施設の運営資金は、主にクラウドファンディングで募った寄付金の2億円で、週3回フードバンクでホームレスの方々に食事を提供し、地域の中で困窮者を支えています。ホームレスや移民で生活に苦慮されている方の所へ出向き、教育、就労、金銭面等々の相談に対して、利用者のニーズから目標を設定し、ソーシャルワーカーが中心となり、多くの情報提供をおこない、生活の質の向上をめざした支援をされています。

また、施設からの福祉サービス等の情報提供は、口コミでの広がりも最も多く、他にはイベントの開催や地域での講演・宣伝活動を積極的におこなっているが、情報提供がおこなわれています。

今後は、施設利用者の方々の生活を支援することと来訪者の相談を受けるに留まらず、地域の課題を抽出、課題分析、解決に向けた取り組みを行政や福祉サービス事業所と連携して働きかけていくことや高齢・障がい・LGBTQ（性的マイノリティ）といったさまざまな方が、地域で共存して生活していることを伝え、社会の理解を広めていきたいと考えています。

今回の研修で学べたことは、ソーシャルワーカーの地位は高く、ソーシャルワーカーを中心としたチームアプローチで利用者の生活を支援していることが印象的でした。

また、米国と日本では特に社会・医療保険制度の仕組みや教育、ボランティア、寄付等についての考え方の違いを知ることができました。改めて社会福祉とは何かを考える良い機会となりました。



施設内の様子

風をよむ

すべての女性が 輝く社会づくりとは

大阪市立大学大学院生活科学研究科 特任准教授 中島 尚美

「女性活躍加速のための重点方針2020」が令和2年7月1日に、政府の「すべての女性が輝く社会づくり本部」によってとりまとめられた。その基本的な考え方の第1点目に、女性が安全・安心な暮らしを実現するために、女性に対する暴力の根絶に向けた取り組みや、困難に直面する女性への支援の充実が掲げられている。

平成30年3月に内閣府男女共同参画局が公表した「男女間における暴力に関する調査報告書」によると、これまで結婚したことのある女性のうち、約7人に1人が配偶者などから「身体的暴行」「心理的攻撃」「経済的圧迫」「性的強要」といった暴力を繰り返して受けた経験があるとしている。また、コロナ禍による家庭内の密室で起こるDVの増加は、深刻な状況である。

この度の重点方針には、DV被害者の一時避難場所として、社会福祉法人が運営する施設等の空き部屋を活用することが提示されている。一時避難場所としては、既に全道府県設置の婦人相談所、婦人保護施設や母子生活支援施設、民間シェルターが活用されているが、さらに、地域共生社会の観点からも、社会福祉法に基づく社会福祉法人の「地域における公益的な取り組み」が着目されたことになる。

ただ、DV被害者の場合は、加害者から逃れ、生活圏を離れて新たな地域での再出発をする場合が多い。また、居場所の提供のみならず生活を立て直すための専門的な支援や心理的なケア、そして安全面での保障は欠かせない。女性が輝く社会づくりに向けては、被害者として女性を捉えるのみならず、社会全体が暴力を生み出さないという視点に立つこと、そして加害者にも必要な支援をしていくことが喫緊の課題であると考ええる。

こんなこと 私たちの施設から 32 やってます!

社会福祉法人 愛徳福祉会 大阪発達総合療育センター

みんなの笑顔が集まる場所を福祉と医療で支えます

「社会福祉法人愛徳福祉会 大阪発達総合療育センター」は、1970年に設立された「社会福祉法人愛徳姉妹会 聖母整肢園」に始まり、その後「社会福祉法人愛徳福祉会」に事業を継承、名称を「南大阪療育園」に改め、一貫して障がい児者支援に努めて参りました。

2006年には障がい福祉サービス事業の総称を「大阪発達総合療育センター」に、2012年には保険医療機関として「南大阪小児リハビリテーション病院」と名称変更し、本年度で創立50周年の節目の年を迎えております。

法人の理念として、障がいのある方々が地域において安心して生活できるように、総合的支援を実施することを掲げ、福祉と医療で障がいのある方々が地域であたりまえに暮らせる社会をめざしております。

当センターは、医療・入所・通所・在宅支援の4つ

のサービスを柱とした、総合支援体制で各種サービスを提供しております。

医療サービスは、保険医療機関南大阪小児リハビリテーション病院を核として、医学的治療を中心とした外来診療（整形外科・小児科・小児外科など）・外来リハビリテーション・障がい児歯科にて診療をおこなっています。

入所サービスは、3病棟120床を運営しており、医療型障がい児入所施設「わかば」と医療型障がい児入所施設・療養介護施設「フェニックス」があります。

通所サービスとしては児童発達支援事業所4施設「ふたば」「なでしこ」「あさしお園」「ゆうなぎ園」を運営、生活介護事業所「なでしこ」も運営しています。

また、在宅支援サービスとしては、訪問診療科、訪問看護ステーションめぐみ、訪問介護ステーションめぐみがあり、その他、地域支援サービスとして、保育所等訪問支援事業や相談支援事業も実施しています。

今後も各種サービスの充実を図るとともに、利用者様、家族様、地域の皆様に愛されるセンターをめざしてまいります。



大阪発達総合療育センター

住所 〒546-0035 大阪市東住吉区山坂5-11-21
Tel 06-6699-8731 FAX 06-6699-8134
HP <http://osaka-drc.jp>

「みんなでエール 福祉にエール～新型コロナウイルスの影響下でさまざまな福祉課題に向き合う人々の活動支援キャンペーン」実施要項

趣 旨

このたび、NHKで、中央共同募金会、日本赤十字社とともに、新型コロナウイルスと向き合う人々を応援するキャンペーン「NHKウィズコロナ・プロジェクト『みんなでエール』」を年内展開することになりました。放送を通じたキャンペーンとともに、NHK歳末たすけあいを協働で実施している共同募金会の全国キャンペーンに募金を呼びかけます。

大阪府共同募金会では、中央共同募金会及び各都道府県共同募金会と協働し、この「みんなでエール」キャンペーンの趣旨をふまえ、新型コロナウイルスの影響下で、さまざまな福祉課題に取り組む団体・グループを対象に支援を行うための助成事業を実施します。

募金の募集期間

令和2年7月9日(木)～12月31日(木)(予定)
(あわせて、10月1日(木)～12月31日(木)までは赤い羽根共同募金の、12月1日(火)～25日(金)の間はNHK歳末たすけあい募金の受付は例年どおり実施いたします)

募金の方法

振込によるご寄付
金融機関：三井住友銀行 東京公務部
預金種別：普通預金 0162530
口座名義：社会福祉法人 中央共同募金会
※同行本支店間の窓口及びATMからの振込手数料は無料です。
※通信欄に必ず「みんなでエール募金」とご記載ください。
※領収書の発行を希望される場合は、通信欄に必ず「領収書 必要」とご記載ください。

助成事業

助成対象団体
新型コロナウイルスの影響下でさまざまな福祉課題に向き合う人々を支援する活動に取り組み実施している団体・グループを対象とします。
※法人格の有無は問いません。任意団体も対象としますが、個人及び営利企業は対象外とします。)

助成対象事業
「ウィズコロナ」の時代がくることを想定し、人と人とのつながりづくりを主眼とした事業を優先します。

助成事業実施の対象期間
令和2年7月9日(木)～令和2年9月30日(水)までに実施される事業

助成金額
1 団体あたりの助成額の上限：50万円

詳しくは、大阪府共同募金会ホームページ
<http://www.akaihane-osaka.or.jp>をご覧ください。

赤い羽根おさか 検索

問合せ＝大阪府共同募金会
TEL：06-6762-8717 FAX：06-6762-8718
Eメール：ai-kibou@akaihane-osaka.or.jp

立ちどまらない保険。
MS&AD 三井住友海上

三井住友海上の安心

GK

クルマの保険 家・持ち物の保険 人の命の保険

www.ms-ins.com